

## 2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 50114 単位数 : 2

科目名	法学	科目責任者	岡部 史信
課題と試験担当教員	岡部 史信		
履修方法	S スクーリング学習		
ナンバリング	CLAWP101		

## ■ 科目概要

「法学」という科目は、例えば「法学入門」とか「法学概論」などという名称で、各大学の法学部でも講義されています。この科目の目的は大きく2つあるといえます。ひとつは、これから法律を学ぼうとする人たちを対象として、そうした人たちを法の世界へと道案内する役割です。この意味で、例えば、法律の勉強の仕方、法律文書（レポート）の書き方、六法の読み方や活用の仕方、法の分類、裁判および裁判所の仕組み、法解釈の方法などを学習します。そしてもう一つの役割は、ある程度実定法各分野（憲法、民法、刑法など）を学んだ人たちを対象に、総合的な視点から法それ自体について考察するというものです。このため、例えば、法規範と他の規範はどのような性質上の違いがあるのか、法の理念とは何か、法の正義とは何かなどを主たるテーマとして、実定法各分野で微妙／大幅に異なる理論を根本から考えてみようというものです。この通信教育部で設置されている「法学（含日本国憲法）」では、上記前者の目的を主軸としつつ、しかし後者の先取りも意識しつつ学習していきたいと思っています。

## ■ 到達目標

法学の基礎知識および基礎的な思考の仕方を身につけること。

法学独特の用語や表現に慣れること。

今後スムーズに実定法各分野に入る準備作業を行うこと。

## ■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
第1章第1節「法学の勉強のための動機とその活用の仕方」、第2節「レポートの書き方」	第1回目では、①法律を学ぶために揃えなければならない6つの道具とその使い方について、②教科書の読み方についての参考例、③法律のレポートの書き方について学びます。
第2章第1節「法令の基本的な形式と構造」、第2節「条文の形式と構造」、第3節「条文に使用されている用語の意味と決まり」	第2回目では、①法令の形式的な仕組みと構造、②条文の形式、③紛らわしい法令用語いくつかの例について確認します。
第2章第4節「六法の活用」、第5節「判例の決まり」、第1章「法学の目的と体系」	第3回目では、①六法の利用の仕方、②具体的な判決を通じて判例を読むことを学習します。その後、③法学の目的と分類について確認します。
第3章第1節「規範、社会規範」、第2節「社会規範の分類」	第4回目では、法規範の特徴について学習します。

学習範囲 該当する章など	学習内容
第3章第3節「道徳や習俗という規範と法規範との比較」	第5回目では、特に「強制力」に注目して他の規範との特徴の違いを整理しましょう。
第1章、第2章、第3章の確認	第6回目から第14回目まではスクーリングを受講することになります。受講にあたっては、第5回までのDVD学習を終えていることが原則ですので、第6回では第1章・第2章・第3章についての確認試験を実施します。そのうえで、法規範と道徳規範の違いを判例を通じて議論してみましょう。
第6章第1節「成文法と不文法」、第2節「成文法の種類」	第7回目では、法がどのような形式で存在しているか学習します。この回の対象は、成文法の途中までです。
第6章第2節「成文法の種類」、第3節「不文法の種類」	第8回目は、第7回の講義の続きです。成文法を完結させ、さらに不文法にもついても学習します。
第7章第1節「公法、私法、社会法」、第2節「実体法、手続法」、第3節「民事法、刑事法」、第4節「強行法、任意法」、第5節「固有法、継受法」	第9回目は、法の様々な分類の仕方について学習します。
第7章第6節「一般法、特別法」、第7節「原則法、例外法」、第8節「国内法、国際法」、第9節「自然法、実定法」、第10節「法秩序に関する諸原則」	第10回目は、第9回の講義の続きです。
第6章、第7章の学習からの応用問題	第11回目では、法の形式や様々な分類の仕方を学習したまとめとして、何か一つ具体的なテーマを定め、受講生の皆さん全員と議論します。
第9章第1節「法の適用」、第2節「法の解釈」、第3節「法解釈の種類」、第4節「学理解釈の技法」	第12回目では、法の適用と解釈について学習します。①法の適用や解釈という意味、②法解釈の必要性、③有権解釈と学理解釈、④文理解釈を範囲とします。
第9章第4節「学理解釈の技法」	第13回目は、第12回の講義の続きです。特に論理解釈の技法について学習します。
第9章の学習からの応用問題	第14回目では、法の適用と解釈を学習したまとめとして、何か具体的なテーマを定め、受講生の皆さん全員と議論します。

## ■ ディスカッション・ペアワーク

ディスカッション・ペアワークは行いません。

## ■ DVDに関する内容理解の確認方法

面接授業1回目に小テストがあります。

## ■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	第1章、第2章、第6章、第7章、第9章、第10章の基本的知識と応用的な思考力。

## ■ 評価方法

---

○スクーリング試験：100%

## ■ 教科書

---

**書名：**法学 新版  
**著者名：**岡部史信  
**出版社名：**創大通信教育部  
**出版年：**2016.4  
**版：**  
**刷：**  
**ISBN：**

## ■ 参考書

---

スクーリング中に適宜指示します。

## ■ 履修上のアドバイス

---

法律の知識は誰にとっても必要な知識です。難しい抽象的な理論などは後回しにしてもいいですから、まずは自分の具体的な環境に置き換えて学んでみてください。きっと興味を持てると思います。

## ■ 自習時間

---

スクーリング受講前に、第1章、第2章、第3章、第6章、第7章、第9章を一通り読んでおいてください（10時間程度）。スクーリング受講中にはその都度指示しますが、全員での議論のための準備も必要です（2時間程度）。自宅でのテキストの学習では、少なくとも各章それぞれを読み（各4～5時間）、各章末に掲載してある知識整理問題を解答し（1時間）、応用問題のいくつかを解いてみてください（検索時間などを含めて2時間程度）。

## ■ 担当者のプロフィール

---

富山県生まれ。創価大学13期の卒業生で、現在、創価大学法学部教授。家族は妻と一人娘と猫一匹。東京都あきる野市在住。